

**「認知症カフェ」開催までの道のり
(チェック表)**

午後cafe開催までの道のり(チェック表)

時期	内 容	✓
開催前	○講師との打ち合わせ(薛武さん)	済み
	・説明文書の準備	済み
	・依頼文書	なし
	・謝金/マイナンバーの確認	済み
	⇒総務への伝達	済み
	⇒回議書/支出何作成	済み
	・フリークへの参加	有り
	○演奏者との打ち合わせ(山本さん&黒瀬さん)	済み
	・説明文書の準備	済み
	・謝金/マイナンバーの確認	済み
	⇒総務への伝達	済み
	⇒回議書/支出何作成	済み
	・会場使用方法/楽器の配置確認	
	・マイクの使用/設置方法	OK
	・フリーク時のBGM演奏	なし
	○菓子の発注	
	・事業所を決定する(工房しらかば)	済み
	・事前打ち合わせ(納品日、金額、の確認)1/18	済み
	・発注依頼を出す(手渡し or Fax)	済み
	・若生さんへ発注内容を提出、金額確認	
	○月初めに会場の予約(2カ月前)	
	・DSフロア/介護者教室/相談室	済み
	和室/ロビーのソファ	
	○タイムスケジュール作成	
	⇒水澤さん、鈴木さんへ	
	○実習生の調整(不在)	
	⇒吉田課長と相談しながら進める	
	⇒説明文書の準備	
	⇒配属先へ当日の不在を周知	
	⇒協力可能な実習生へ面談	
	○アンケート印刷/カット	
	・内容の確認、修正なども	
	○鉛筆を削る	
	○飲み物オーダー表の補充	
	○正面玄関看板用A3版(カラー)作成	
	○ティフローア見取り図作成/カラー印刷	
	・演奏者と相談して配置を決めて作成、印刷、キッチンに貼る	
	○次回のチラシ印刷(ピンク合計496部)+カラー3部	
	・回覧板用270部(封筒2つに130、140部ずつ入れて準備)	
	⇒cafeの際にボラネット今野さんへ依頼	
	・配布用に214部	
	⇒吉成市民C(10)、中山市民C(10)、国見ヶ丘歯科(10)	
	丘(10)、ふらす(15)、元気塾(9+カー1)、里(10)	
	包括(25)、杜 総務前(15)、中山(10)、国見(10)	
	後藤クリーニング(10)、せんだんホスピタル(10)	
吉成台内科胃腸科(10)、けやき薬局(10)、館(10)		
保育園(10)、分園(10)、杜の子(5)、遊杜家(5)		
セブンイレブン(カー1)、サンクス(カー1)		
・案内表示添付用に8部(桜の木に5枚、南門2枚、正門下1枚)		
・誘導係の案内版内側ポケット用に4部		
○プログラムの印刷(カー用紙、参加者分) ブルー90部		
○買い物(チョコレート・水や備品)		
⇒チョコ・麦茶必要時購入		
⇒講師/演奏者用ミネラルウォーターの購入	なし	
○駐車場の調整		
・当日の敷地内駐車場の配置図作成		
・駐車場配置依頼作成		
⇒開催1週間前ほどにデスクネット配信		
・MT(相原さん)へ直接依頼する		
○総務へ当日の依頼内容の確認		
・必要備品(スリッパ、湯飲み、グラス、お盆)		
・謝金/マイナンバーの確認		

※麦茶用ポット(さくら)、麦茶

時期	内 容	✓
開催前日	○講師/演奏者へ必要があれば確認メール	
	○法人職員協力者の確認	×
	※西機応変に	
	○掃除など	
	・DSフロア/トイレ/キッチン	
	・トイレトペーパー/ティッシュ/紙コップなどの補充	
	・玄関の下駄箱掃除	
	⇒前もって藤村さんへ依頼しておく	
	○デジカメ/ビデオの充電	
	○お菓子の納品	
	・若生さんにお金を出してもらい、支払い	
	○駐車規制	
	・桜並木駐車場の桜の木に「早番・遅番専用」	
	⇒ビニール紐&ガムテープ必要(5本に指示)	
	・桜並木下駐車場に「早番・遅番・総務専用」	
	⇒カラーコーンにPEテープで貼る(1本)	
	・敷地内自動販売機側駐車場に「お客様用駐車場」	
	⇒フェンスにゴムでくり付ける(6枚)	
	・球場横駐車場に「地域スタッフ用」	
	⇒カラーコーンにPEテープで貼る(2本)	
	○敷地内駐車場案内表示	
	・講師・お客様用駐車場の表示付ける	
	・正門へカラーコーンにて案内表示	
	・南門へ案内表示	
	・玄関へ看板を出す(A3版を掲示)	
・ライフ/ミラをロータリーへ移動(※ミニカはHHで移動)		
○倉庫より未客用スリッパを出す(3箱)		
○ポットを借りに行く(フェリコ食堂)		
○フェリコより折り畳み椅子を借りる(5~7脚)		
○デジカメ/ビデオの準備		
○傘立て(雨天・日傘用)		
○菓子の集計		
・売り上げ金を若生さんへ		
・売れ残りは職員へ販売(残数カウント)		
○アンケート回収		
○注文票回収		
○駐車規制解除		
・講師/お客様用駐車場表示はがす		
⇒保育園側、リベラ側、自動販売機側フェンス		
・正門のカラーコーン撤去		
・南門の表示はがす		
・桜並木下駐車場のカラーコーン撤去		
・球場横のカラーコーン撤去		
○フロア/トイレ掃除		
○電源の確認		
○コーヒーメーカーの水抜き		
○ふきんの洗濯、乾燥		
○講師/演奏者へお礼のメール		
⇒アンケートの感想を添える		
○参加者の集計		
⇒客/スタッフ/見学者/実習生などの内訳確認		
○アンケート集計		
○飲み物の集計		
○案内・誘導係の振り返り作成		
○写真データ整理/充電		
○ビデオデータ整理/充電		
○ホームページ更新		
○講話の内容を記録		
○演奏の曲目を記録		
○法人企画会議用のPP作成		

まとめ

実践研究をふり返って

現在のわが国は、「家族の支え」「企業の支え」「地域の支え」が脆弱化してしまい、生活課題を抱える人たちに限らずその周囲の人も含めて、「生きにくい社会」に変容しつつあるのではないだろうか。核家族化に留まらず単身世帯も増えると共に、住環境の多様化も相まって「地域でのつながりが失われた社会」ともいわれている。また、認知症高齢者に関する問題では、全国で認知症を患う人の数が2025年には700万人を超えるとの推計値が発表されており、65才以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症に罹患する計算となる。平成27年の国勢調査では東北6県の人口は約898万人とされており、長期的に見れば認知症を患う人の数は東北の全人口に匹敵する可能性もある。そのため、認知症の人を介護する家族介護者等に限らず、地域や日常生活の中で認知症の人と関わることは、決して他人事にはできない状況になることが見込まれる。

このような問題に目を向けてみると、社会保障制度ばかりに期待ができないわが国の今後の社会は、非常に複雑な課題を抱える状態になることが容易に想像できるのではないか。しかし、これからの社会に向けてはその状態をもって諦めるのではなく、地域のさまざまな社会資源が主体性を持ちながら生活課題を「我が事」として捉え、専門家たちと有機的な結びつきのもとに再び作り上げる方策を考えていくことが重要だと思われる。社会福祉事業に従事する私たちが把握している福祉的課題と地域の住民が把握している福祉的課題は、必ずしも一致するとは限らない。実際的に、ある地域における福祉的課題を地域住民たちが行動を起こして解決している事例もたくさんある。しかし、地域性などの個別事情はあるにせよ、まだまだ「ある地域」に留まった実践事例に終始している印象も感じられる。今後のわが国の社会に必要なのは、地域の住民が把握している福祉的課題を様々な人たちや社会資源とその課題がある現場で解決するために取り組むことが必要で、地域ごとの個性を踏まえたオーダーメイドの取り組みが増えていくことが必要なのだろうと感じている。

昨年、開設して20年を迎えた社会福祉法人東北福祉会せんだんの社は、法人理念に「すべての人がひとりの人間として尊重され、個性が輝く、共生の地域づくり」を掲げ、高齢者福祉分野を中心に児童福祉分野、障がい福祉分野の社会福祉事業を運営している。立地している仙台市内西部の丘陵地にある国見ヶ丘地域は、住民が主体となって行っている様々な活動が活発であり、私たちもこの地域で先駆的に取り組む方々に育てられてきたと痛感している。幸いにもこのような恵まれた地域に存在し、社会的にさらなる役割の発揮を求められている社会福祉法人として、地域の様々な社会資源とパートナーシップを図りながら、どのような役割を担っていくべきかの探求をしていく中の取り組みの一つとして『午後の音楽 café』が始まった。

せんだんの社で開催されている『午後の音楽 café』いわゆる「認知症カフェ」は認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）にも位置付けられており、目的や実施主体、開催スタイルなど様々ではあるが、平成26年度実績調査では41都道府県280市町村にて、655カフェが運営されており今後においても増えつつある。

本報告書の通り、『午後の音楽 café』は「吉成学区社会福祉協議会」並びに「ボラ・ネット社の丘」の皆様を中心として、国見ヶ丘地域包括支援センターとせんだんの社がタッグを組んで運営している。「認知症の人と一緒に楽しむことができる場」「だれでも気軽に参加することができる場」「もの忘れや認知症に関してゆるやかに学べる場」「認知症の人や家族介護者、地域の方が専門職とつながることができる場」の四点を重点項目としているものである。

そして、この『午後の音楽 café（認知症カフェ）』の機能の一つとして、認知症に関する困りごとを抱えていながらも相談できない、相談したくない方や認知症による生活障がいの自覚が乏しい方、認知症等に関する情報や支援について求めているが見つかることができない方といったような、生活課題を抱えながらもまだ何にもつながれていない潜在しているの方々に対するアプローチの一つになっていくことも期待している。

もう一つの機能として期待しているのが、認知症の人の居場所の選択肢の拡充である。

冒頭で述べた通り、認知症を正しく理解することの普及啓発やそのうえでの地域での支えあい体制構築には多くの課題がある。また、生活課題を抱える人の生活は公的サービスだけで支えきれないことは明確であり、サービスの供給主体の多様化と共に支え手の多元化が今後さらに進められるであろう。このような変容の中で、認知症の人の居場所が サービスや 施設だけに留まらず、『午後の音楽 café』のように様々な人たちと共に楽しみながら過ごすことのできる居場所やまだまだ持ち合わせている「力」や「強み」の発揮ができる居場所の選択肢が増えていくことが必要だと感じる。認知症は脳の器質的变化による認知機能障がいにより生活障がいを抱える疾患であるが、生活の全てが成り立たなくなるわけではない。周囲の人の関わり方や環境により補うことで生活が維持できる場合も多くある。認知症ケアの理念とされる“パーソン・センタード・ケア”にも言われるとおり、一人の人間であることに変わりはないことを忘れてはならない。また、 サービスや 施設だからこそ出向くことに抵抗を感じ、その結果活動や参加の機会を失っている本人や頭を悩ませる家族介護者もいるであろう。このような問題に対して、敷居が低く認知症の人や家族介護者、その他多くの人たちが一緒に楽しみながら学び、必要な支援につながる「認知症カフェ」は多くの可能性を秘めていると感じる。

『午後の音楽 café』は、毎回楽しみに参加してくださっている方や初めて参加する方、吉成学区社会福祉協議会の皆様やボラ・ネット杜の丘の皆様など、多くの人たちの力の終結があり、平成28年9月に一周年を迎えることができた。しかし、このカフェの目的でもある「もの忘れや認知症に関して、必要な方への早期発見・早期対応」の達成にはまだまだ課題は多く、開催回ごとに感じる喜びを大切にしつつも、さらに検証・進化していく必要性を感じている。今後、この『午後の音楽 café』が、認知症の人やその家族介護者、認知症の人を気にかけている地域の方々にとって、楽しめる場であることは勿論のこと、認知症に関する理解を深める場となり、支えあいの地域づくりになるきっかけとなっていくことを願う。

最後に、『午後の音楽 café』をここまで自信をもって誇れる café にしてくださった「吉成地域学区社会福祉協議会」並びに「ボラ・ネット杜の丘」の皆様にこの場を借りて深謝申し上げます。

また、café 当日の相談担当職員として協力してくれた関連施設の職員、café の運営に適切な助言をくださった認知症介護研究・研修仙台センターの先生方、そして、毎回素敵な音楽と講話を提供してくださっている演奏家並びに講師の皆様に心よりお礼申し上げます。

平成29年3月

せんだんの杜 / 副施設長 **水澤里志**

【資料集】

午後の音楽 café アンケート

【午後の音楽 café】は今回が（初めての参加・回目）
いらしたきっかけは何でしたか？

（ 前回も来たから・町内会の回覧板を見て・知人等の誘い
チラシを見て（どこの） ・ インターネット
その他（ ） ）

音楽はいかがでしたか？

（ ）
ものわすれの話はいかがでしたか？

（ ）
全体を通しての感想がございましたらお聞かせ下さい。

（ ）
聞きたいこと・相談したい等がある場合、ご希望の方には
後日地域包括支援センター職員からお電話をさせていただきます。
差し支えなければ、下記へお名前・ご連絡先の電話番号等
ご記入ください。 **相談を希望する ・ しない**

（ お名前：
ご連絡先： ）

ご協力ありがとうございました

午後の音楽 café アンケート

【午後の音楽 café】は今回が（初めての参加・回目）
いらしたきっかけは何でしたか？

（ 前回も来たから・町内会の回覧板を見て・知人等の誘い
チラシを見て（どこの） ・ インターネット
その他（ ） ）

音楽はいかがでしたか？

（ ）
ものわすれの話はいかがでしたか？

（ ）
全体を通しての感想がございましたらお聞かせ下さい。

（ ）
聞きたいこと・相談したい等がある場合、ご希望の方には
後日地域包括支援センター職員からお電話をさせていただきます。
差し支えなければ、下記へお名前・ご連絡先の電話番号等
ご記入ください。 **相談を希望する ・ しない**

（ お名前：
ご連絡先： ）

ご協力ありがとうございました

午後の音楽 café アンケート

【午後の音楽 café】は今回が（初めての参加・回目）
いらしたきっかけは何でしたか？

（ 前回も来たから・町内会の回覧板を見て・知人等の誘い
チラシを見て（どこの） ・ インターネット
その他（ ） ）

音楽はいかがでしたか？

（ ）
ものわすれの話はいかがでしたか？

（ ）
全体を通しての感想がございましたらお聞かせ下さい。

（ ）
聞きたいこと・相談したい等がある場合、ご希望の方には
後日地域包括支援センター職員からお電話をさせていただきます。
差し支えなければ、下記へお名前・ご連絡先の電話番号等
ご記入ください。 **相談を希望する ・ しない**

（ お名前：
ご連絡先： ）

ご協力ありがとうございました

午後の音楽 café アンケート

【午後の音楽 café】は今回が（初めての参加・回目）
いらしたきっかけは何でしたか？

（ 前回も来たから・町内会の回覧板を見て・知人等の誘い
チラシを見て（どこの） ・ インターネット
その他（ ） ）

音楽はいかがでしたか？

（ ）
ものわすれの話はいかがでしたか？

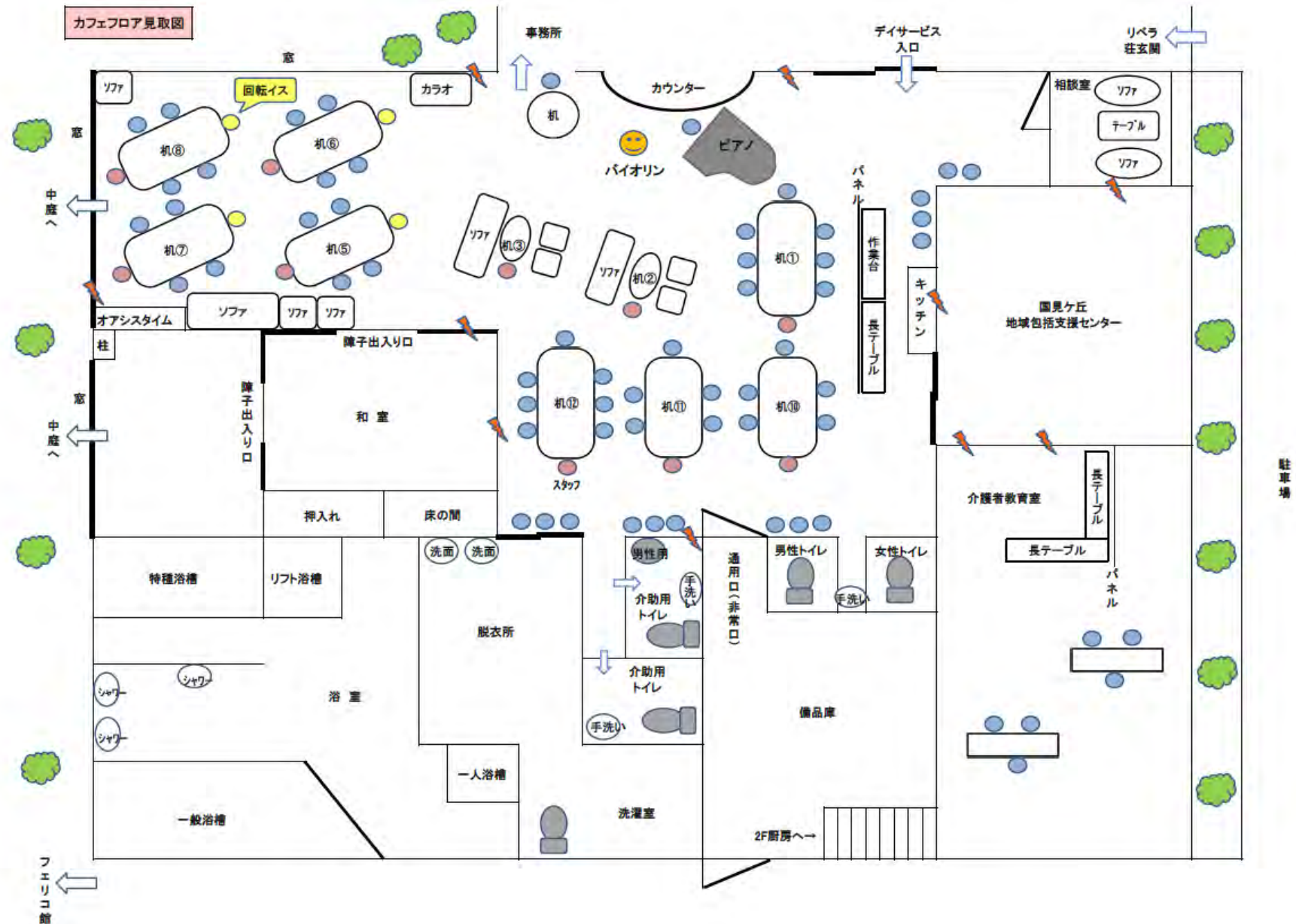
（ ）
全体を通しての感想がございましたらお聞かせ下さい。

（ ）
聞きたいこと・相談したい等がある場合、ご希望の方には
後日地域包括支援センター職員からお電話をさせていただきます。
差し支えなければ、下記へお名前・ご連絡先の電話番号等
ご記入ください。 **相談を希望する ・ しない**

（ お名前：
ご連絡先： ）

ご協力ありがとうございました

カフェフロア



当日タイムスケジュール

平成29年1月19日「午後の音楽café」タイムスケジュール

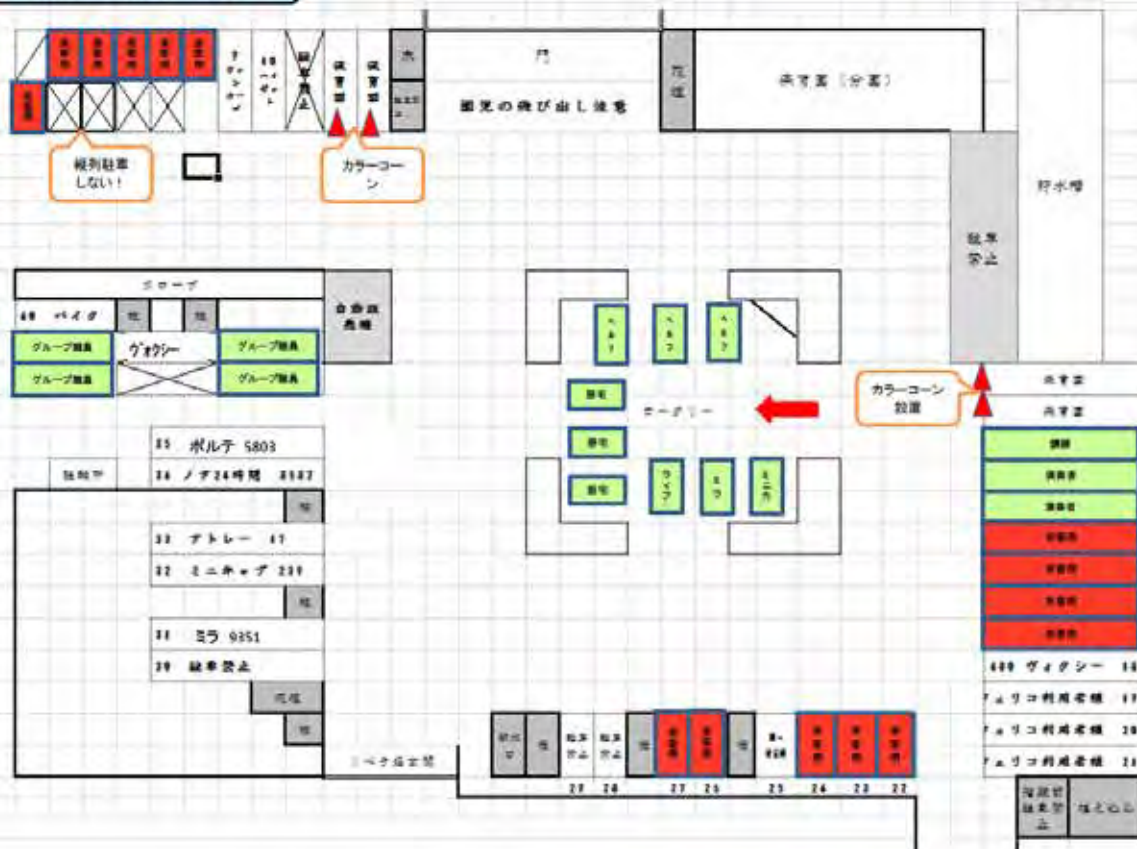
時間	内容	駐車場担当	玄関案内	喫茶スタッフ	講師・演奏者対応	テーブル担当	テーブル担当補佐	展示・相談担当(包括)	続括/ビデオ撮影
	演奏:山本直子さん(ピアノ) 黒瀬英一郎さん(バイオリン) 講話:家族の会 蘇武徳典さん	社:松本、松橋、木村	社:藤本 福祉大実学実習1年: ※12:45頃~17:00	ボラネット社の丘: 6~7名	社:北川、鈴木 【演奏】山本直子さん(和室) 【演奏】黒瀬英一郎さん(和室) 【講師】蘇武徳典さん(相談室)	社:藤本、松橋、木村 丘: 吉成学区社協: 熊谷会長、津田会長、松山さん、 二科さん		店長・機材 : 阿部 展示・喫茶補佐: 猪俣 相談(フリー) : 藤藤、佐々木、清水	水澤
AM	・可能な部分の会場設営(社職員) ・ヒア/運搬(キターの会があるため10時頃)								
12:30~ 13:40頃	・全体顔合わせ ・担当内で打ち合わせ ・会場設営 ソファ移動⇒職員で! ロビーへテーブル・椅子設置	・確認終了後、案内へ 榎並木下駐車場前 分園前 正門前 ロータリー付近	・玄関準備 (スリッパ、札、傘立て)	・冷たい麦茶あり	※12:30頃着⇒リハへ ・山本さん、黒瀬さん到着(北川) ・リハ後、控室へ 流れ確認(お茶) ※謝金は第1部演奏後 ⇒山本さん15:30帰宅のため	※「工房しらかば」のクッキー			
13:00頃	・BGM(CD)スタート		・到着者より案内 ・藤本実習生に託し、 テーブルに入る	到着者より配茶スタート 一回目オーダーには チョコを添える		・お話しへの対応 ・飲み物のオーダーをとる ・クッキーのセルフ販売(¥100)	・社:木村、松橋 駐車場案内より会場へ	・来客の動きに応じて臨機応変に対応 ・喫茶コーナーの状況の確認・補佐	
13:30~	・BGM(CD)フェードアウト ・ソプラノ&ピアノ 第1部演奏開始(20分)	・一人残る、他の2名は会場へ →テーブル担当補佐へ	・少し残る		山本さん・黒瀬さん(北川) 第1部演奏開始(20分間)	・一緒に演奏を鑑賞		・テーブル状況を見ながら個別の 相談対応 ・見学者や視察者などの座席誘導 ・展示コーナーへ寄られた方への 相談対応	・ミニコンサート第1部 ビデオ撮影スタート
13:50	・演奏終了		・音楽を聞く		⇒演奏者退室(北川)				⇒13:50ストップ
13:55~	・講話開始(30分)		・講話を聞く		・蘇武さん(北川) ※当日配布資料あり(1枚) (パンフやチラシもありそう) ※演奏者は講話中に謝金(北川)	・一緒に講話を聞く			・13:55講話 ビデオ撮影スタート
14:25~	・講話終了⇒BGMはCD ・フリートーク開始(約30分) ・BGMフェードアウト	※随時、外回り案内表示 撤収	※リベラの方へ対応 一緒に座る。 (職員と相談の上)		・講話終了⇒テーブルへ(北川) ※講話後相談室にて謝金(北川) マイナンバー確認(総務) ※BGMはCD	・お話しへの対応 一個別相談の必要のある方は 包括スタッフへつなぐ →展示・相談コーナーへつなぐ →講師の先生へ声を掛ける →アンケート用紙を手渡す			⇒14:25ストップ ・フリートーク中 ※撮影は随時
15:00~	・ソプラノ&ピアノ 第2部演奏開始(20分間) ※アンコールあり				・山本さん・黒瀬さん案内(北川) 第2部演奏開始(20分間)	・一緒に演奏を鑑賞			・ミニコンサート第2部 ビデオ撮影スタート ⇒15:30ストップ
15:20	・演奏終了	・外へ出て案内待機	・玄関にて待機 退室者の靴案内 スリッパ整理など		・山本さん・黒瀬さん退場 ⇒すぐに帰られる	・忘れ物のないように声を掛ける ・アンケート回収	・駐車場係は外へ出て誘導		
15:30	・終了	・片付け	・片付け	・片付け	・蘇武さん送り出し	・片付け	・片付け	・片付け	

スタート!!

駐車場見取り図



せんだんの社敷地内駐車場



公益財団法人 日本社会福祉弘済会 平成28年度社会福祉助成事業

**地域住民が主体となり企画・運営する
認知症カフェの効果的な実施方法の検討
実践研究事業報告書**

平成29(2017)年3月

発行所 社会福祉法人東北福祉会 せんだんの杜
☎989-3201
宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘7丁目141番地9
TEL(代):022-277-1122 FAX(代):022-719-0688
e-mail(代) : mori@tfu-mail.tfu.ac.jp
URL : www.sendan.or.jp

発行者 社会福祉法人東北福祉会 せんだんの杜
総合施設長 舟越 正博

印刷所 株式会社 ホクトコーポレーション
☎989-3124
宮城県仙台市青葉区上愛子字堀切1-13
TEL(代):022-391-5661 FAX(代):022-391-5664
URL : www.hokuto-web.co.jp